

令和4年度 大阪府立渋谷高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録

【日時】令和4年11月24日(木) 13:15~15:30

【場所】会議室

【出席者】佐藤琢志委員、奥村昌也委員、染川弘委員、上垣真起子委員、室留圭二委員、平田朋子委員、
向井幸一校長、田地浩教頭、加藤知信事務長、上畠伸次首席、元田綾子首席

【次第】

- 1, 授業見学
- 2, 現状報告
- 3, スクールミッションについて
- 4, 協議
- 5, 意見書について

【議事】(●事務局 ○協議会委員)(司会 佐藤会長)

2, 現状報告

●文化祭は入場制限をしつつ、実施することができた。修学旅行も無事終了した。旅行先の沖縄では平和学習、民泊、選択体験を実施した。オープンスクールも無事終了した。

3, スクールミッションについて

校長：案を提示する。意見を集約したのち、府教委に提出する

司会) スクールミッションについて何か意見があれば。

○地域の課題解決などはややハードルが高いと思う。

○「発見力を高める」の文言を、「発見力、解決力を高める」という内容にしたほうが良い。

○「地域」という文言が多用されているが、地域とはどの範囲なのかとらえ方がわからない。「社会」という文言のほうがわかりやすいのではないか。

校長) 早ければ第3回までに加筆修正したものをお示しする。

4, 協議

授業見学について

○教員生徒間の距離が近く、楽しそうである。PC環境もそろっており今後に期待できる。

○生徒は、和気あいあいとしていた。PCを持っていない生徒にはどのように対応しているのか気になる。扱っている問題も身近であり、社会に出てから役に立つと思う。

○習熟度別のクラスでは、生徒の質問に丁寧に対応していた。通常クラスでも生徒の学習に対する姿勢がよかった。プロジェクターなども効果的に利用されていた。背景の黒板が映像の見やすさを妨げていると感じられる。扱っている題材が身近であり、生徒の興味がわくような内容であると感じる。このような経験が蓄積されることで社会に出てから役に立つと思う。

○校舎にゴミが少なかった。授業の様子から生徒に寄り添った指導だと感じた。

○落ち着いた授業だった。プリントを用いる授業が多かったが、このような授業が主流なのか。

○カルチャーショックを感じた。3点気になる。

1点目…生徒の言葉遣いについて、受容と許容のバランスを考えるべきだと思う。

2点目…プリント、ICTの活用が目立つが、テキストの活用、本を読む習慣を授業でつけたほうが良いのではないかな。

3点目…モデルとなるべき教員の服装も気になった。

○先生の言葉遣いが丁寧で、返答する生徒がため口なのが気になる。

○小学校では黒板の内容を写すのが主流である。中学以降では教える内容が多いため、プリントの穴埋めなどで効率化が図られているのではないかな。書いたことを写すだけにならないよう、質問等をふくめて考える機会を作るべきなのではないかな。先生の講義のみが目立っていたため、生徒同士の話し合いもあれば良かった。

○授業にクロームブックを用いている先生はどのくらいいるのか。

●生徒に使わせている先生は限られている。

○先生も準備が大変ではないかな。

●使用する先生は、常に準備が必要である。理科では図表を用いる場合クロームブックは便利である。

○自分の感情を発信する生徒が多く感じる。授業では対応しきれないため、部活などで生徒の気持ちを汲み取っているのか気になる。

●HRや探究活動で、先生と生徒がうまくコミュニケーションを取っている。

意見書について

○意見書が形骸化しないことを願っており、周知を徹底してほしい。

○意見箱の設置場所を変更してもよいのではないかな。

●教頭：意見箱の設置場所、周知徹底について考えていく。

地域活動について

○地域活動に渋谷高校の生徒がかかわって盛り上げてくれている。高校生の社会参加が感じられ素晴らしいと思う。

5、意見書

司会：意見書の提出はあるか。

教頭：意見書の提出はない。

司会：これで終了する。本日はありがとうございました。